

56

千代田区景観まちづくり重要物件

常盤橋

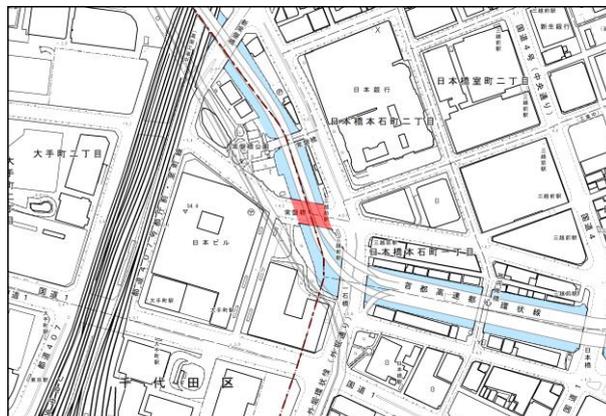
指定日 2007(平成 19 年)3 月 28 日

所在地 大手町二丁目 6,7 番先～中央区日本橋
本石町一丁目 2 番,二丁目 1 番先
(日本橋川)

設計者 -

竣工 1926 (昭和元) 年

文化財等
指定状況 -



▲常盤橋全景

歴史・文化的特徴

常盤橋は、震災復興事業で大手町と日本橋本石町をつなぐ重要な路線として架橋された橋です。上流の旧常磐橋は架け替えることなく保存され、常盤橋として新たに設置されました。

橋詰めには御門跡が残り、渋沢栄一像が建てられています。

意匠・構造の特徴

2連鉄筋コンクリートアーチ橋に石貼りがなされ、重厚なデザインとなっています。

橋灯を組み込んだアールデコ調の親柱、小アーチをくりぬいた高欄等、モダニズムの影響を感じさせるデザインとなっています。

上流の旧常磐橋と意匠的な調和が図られています。



▲常盤橋の親柱



▲小アーチをくりぬいた高欄

周辺景観との関係

歩行者の視線からは、親柱、高欄などの重厚な意匠が目に入ります。首都高速道路の高架が圧迫感を感じさせます。

周辺からは橋梁の全景を良く見る事ができます。水面からも2連アーチが印象的に見えますが、高架橋柱が視界を遮っています。

周辺には日本銀行本店など石造風の建物が多く、調和した景観を形成しています。

日本橋地区への入口として交通量が多い場所に立地しています。